

キャラクター名
来川 澄/真

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ		年齢	16/21	性別	男
オプション	覚醒	生誕	衝動	自傷	初期侵食率	38 %
出自	転生体	経験	秘密	邂逅	半身	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	0	0	1		1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	1	0			5	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術: 写真	4		知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハレーションカット (100%以上)		0				解放の雷+強化の雷光 対象のシーン中の判定+4D/次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃+2
		0				解放の雷+強化の雷光 対象のシーン中の判定+5D/次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 嗜好きの友人	
カジュアル 思い出の一品	
ポラロイドカメラ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
特異点	P	N		
来川 澄	P 連帯感	N 嫉妬		
轟 悠	P 信頼	N 無関心		
プロデューサー	P 好奇心	N 服従		
悠にクイズ出していた人	P 連帯感	N 嫉妬		
TAWASHIとPAJERO	P 有為	N 嫌気		
打桐 千秋	P 親近感	N 不安		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果: 衝動判定+LVD 侵蝕率基本値+5								
オリジン: ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果: シーン中エフェクトを組み合わせた判定の達成値+LV								
リフレックス: オルクス	2	2	リアクション	至近	自身	シンドローム	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-LV(下限7)								
幸運の守護	★	1	リアクション	至近	自身	RC	-	
効果: 組み合わせた判定でドッジを行える								
天性のひらめき	2	4	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-LV(下限7)戦闘中使用不可								
妖精の手	2	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定のダイス目をひとつ10に変更する 1回/判定 LV回/シナリオ								
解放の雷	1	4	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: 対象の次のメジャーアクションのC値-1(下限6) 攻撃力+[LVx2]								
強化の雷光	4	2	メジャー	視界	単体	RC	-	
効果: シーン中対象のメジャーアクション+LVD 戦闘移動+5m								
運命の切り替え	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象がドッジに失敗した時に使用 代わりに回避 シナリオLV回								
妨害排除	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定の直前に使用 対象はダイス減少の効果を受けない シナリオLV回								
加速装置	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: ラウンド中の行動値+[LVx4]								
インスピレーション	1	2	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: GMに質問 シナリオLV回								
テイクオーバー	1	2	オート	至近	単体	自動	RB/オリジン	
効果: オリジン効果中のみ: 対象のエフェクト使用時の侵蝕率上昇を肩代わり シナリオLV回								

「エメラルドビースト」の一件が片付き、正式に再会を果たした二人。
死んだはずの兄が還ってきたことについて最初は今ひとつ信じられなかった澄だったが、あまりにもあまりに「あの時の彼のまま」時が止まっていた真の振る舞いに自然と心を開いてしまっているようだ。

ひとつの身体にふたつの魂を背負うことになったが、互いにそれなりに楽しんで過ごしている模様。
ただどうしても噛み合わないところもちらほら見られるようで、黙って立ち尽くしているときは大抵、絶賛脳内論争中だ。

- ◆日常
 - ・同じ写真の趣味を持つにも関わらず愛機が異なるため、常に2台以上のカメラを持ち歩いている。
 - ・着る服は交互に決めている様子。急にプレザーを着るようになった彼に、担任はかつてのレジェンドを想起している。
 - ・家事は分担制。日替わりで別のことをしているが、仕上がりでどっちがやったかひと目で分かるとは専らの噂。
 - ・どちらの人間関係も互いに重んじている。……と言っても、あまり交友関係は広くない。
- ◆非日常
 - ・調査能力と『未来視』は依然健在。異能に振り回されながらも全力で相方を補佐しているらしい。
 - ・よりもよって自殺に使ってしまったためにトラウマになりかかっていた雷の力が、弟の攻撃性が乗った時には上手く扱える。ただし人間の身体では発電の負荷が高すぎるのか、行使するたびに全身の体組織が崩壊するようだ。
 - ・《オリジン: ヒューマン》の効果中のみ、兄・来川真の姿に「戻る」。全力のときはもちろんこっち。女を泣かすな。

